

珪藻土壁材MIXの施工方法

きれいに仕上げるために、最初にお読みください。

- ① 塗ることのできる素材： 古い塗り壁（セシイ壁・ジュラク壁・砂壁）、しっくい、モルタル、コンクリート、（内壁・天井専用です） 合板、コンパネ、石こうボード、ビニール壁紙
- ※ 古い壁や木部に塗る際は、「アクドメール」を塗って乾燥させてください。ボード類には必要に応じて目地処理をします。
- かなり弱くなっている場合には、古壁を剥がしてから「アクドメール」を下塗りします。
- ※ ビニール壁紙、石こうボードについても汚れがある場合は「アクドメール」を塗って乾燥させてください。

塗れない素材・場所： 布壁紙、紙壁紙、ガラス、プラスチック、各種金属、化粧合板、タイル、外部、風呂場などの多量の水がかりがある場所

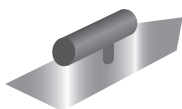
自宅の壁に塗れるかな？と思ったら

フリーダイヤル 0120-64-2421 にご連絡ください。（平日8:00～17:00）

② 使用する材料と道具



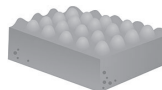
珪藻土壁材MIX



コテ



コテパケ



スポンジ



ハケ



マスキングテープ



マスキングテープ

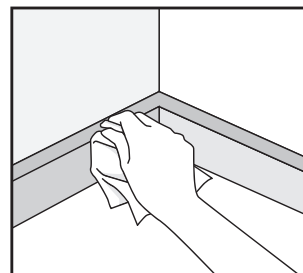
（道具は、すべて必要なわけではありません。仕上げの方法に合わせて、ご準備ください。）

- 他に、エプロン（汚れてもいい服）、カッター、脚立、ビニール袋、ウエス（タオル・雑巾）などを準備してください。
- 珪藻土壁材MIX3kg缶で2.5～3.5m²（タタミ約2枚分の面積）が塗れます。（1回塗り）
塗り厚みは1～2mmです。塗る面積に合わせてご準備ください。
10kg缶（8～12m²分）もあります。

※天然素材を使用していますので、製造ロットによっては多少の色違いが出る場合があります。※一部屋又は一壁面を塗るのに必要な材料は、予め面積を計算して用意しておいてください。※一壁面は塗り継ぎのないよう仕上げてください。※一壁面に必要な材料がロット違いになる場合は、予め合わせ練りして使用してください。

③ 養生をはじめましょう

塗ってはいけないところに材料がつかないように、マスキングテープを使用して保護をします。仕上がりを左右する大切な作業です。早く塗りたい気持ちをグッと押さえて、ていねいに保護しましょう。（塗ってはいけないところを保護することを「養生」といいます。）
まず、養生する（テープを貼り付ける）場所のホコリなどを雑巾などで拭き取ります。ホコリなどがあるとテープが付きません。



拭きとったところが乾いてから 養生作業に入りましょう。



端々までていねいに！

トイレ・ドアは使用可能ように！

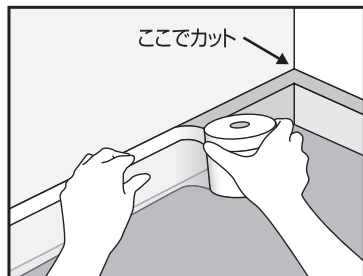
細かなところはテープを使って！

- 珪藻土壁材MIXは厚みのある壁材です。マスキングテープは、壁から2～1.5mm離して貼り付けるのがコツです。

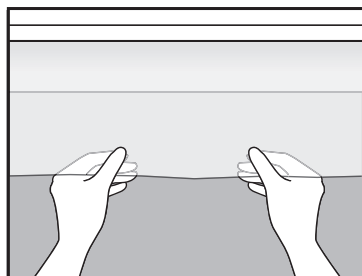
④ マスカーを使った養生

マスカーはテープとビニールシートが一体になっていて、**ドアや床面などの広い部分**の養生に便利です。

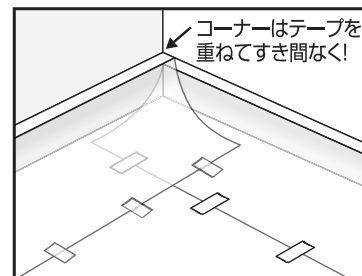
養生部分にテープを貼り、端のところでテープとシートを一緒にカットします。



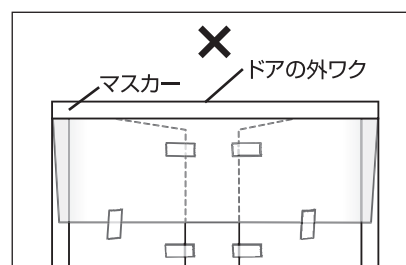
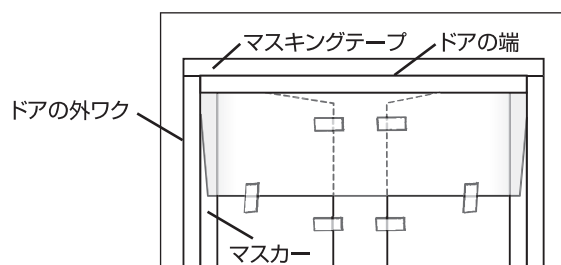
折りたたんだビニールシート部分を伸ばし、塗らないところを隠すように広げます。



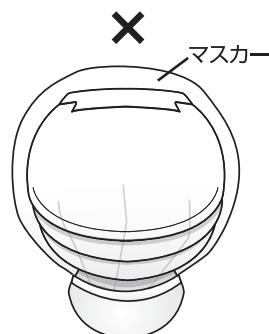
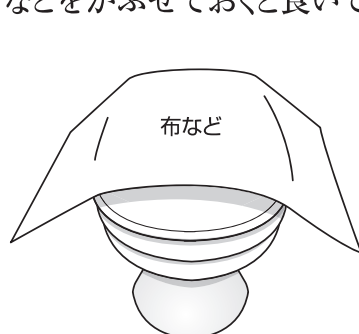
ビニールシートの端はマスキングテープで、ところどころ留めておきます。



ドアの養生をする場合は、マスカーとマスキングテープを使い分けて、**ドアが開くように**しておく必要があります。(ドアの外ワクとドアの可動部分とは別々に養生します。)



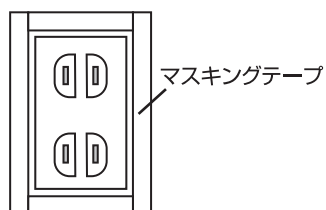
トイレの**便座は使用できる状態にしておく**必要があります。マスカーなどで養生しないで、不要な布などをかぶせておくとい良いでしょう。



チェック! ドアは開けることができますか? 便座は使用できますか? ご自宅にトイレが2箇所以上あれば良いのですが、1箇所の場合は、大切なチェックポイントです。

⑤ マスキングテープを使用した養生

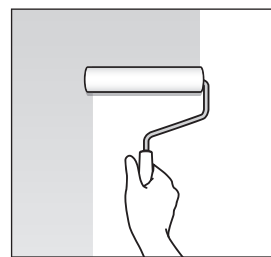
コンセントやパイプなど、比較的細かな部分は、マスキングテープを使って養生します。



チェック! 養生が終わったら、テープの剥がれがないか、やり残しはないか、ローラーを転がせるイメージをしながら確認しましょう。

⑥ 古い壁に塗る場合

古い壁に塗る場合(塗り壁・ビニール壁紙)には、前日にアクドめ下地強化剤「アクドメール」を下塗りし、乾燥させてください。ビニール壁紙が剥がれている部分は、水性接着剤で貼り付けておきます。



アクドメールについては
中毛ローラーで塗ります。

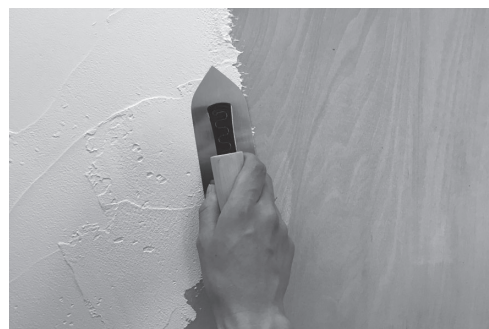
⑦ 塗装作業の準備

養生確認、下地確認ができれば、**汚れてもいい服に着替えて、いよいよ塗装作業です。**
服などの布に材料が付くと、完全には洗い落とせません。また、**室内の風通しを良くしておくことを忘れずに!**

⑧ 塗り付けと仕上げ

塗り付け方法と仕上げ方法には、いくつかの方法がありますが、珪藻土壁材MIXを塗り付けたら、**乾燥する前にすぐに(塗り付けと同時に)仕上げを行います。**

乾燥が進むと、凹凸の変更ができません。



① コテを使う方法

ステンレスかプラスチックのコテを使って、塗り付けと仕上げを行う方法です。1回塗りで仕上げます。

錆びの出る恐れがある鉄製のコテは使わないでください。

塗り厚みは、下地が見えなくなれば薄くても大丈夫ですが、あまり厚く付け過ぎるとひび割れることがあります。

標準の塗り厚みは、1～2ミリです。

多少コテ波が残っても、風合い良く仕上がります。



② 凹凸スポンジを使う方法

凹凸スポンジで材料をすくい取り、たっぷりと塗って広げていきます。塗り厚みがほぼ均一になったら、凹凸をそのまま生かした模様仕上げます。筋模様はお好みで残してください。塗り付けから仕上げまで、一気にを行うのがコツです。



凹凸スポンジによる波模様



凹凸スポンジによる横筋模様

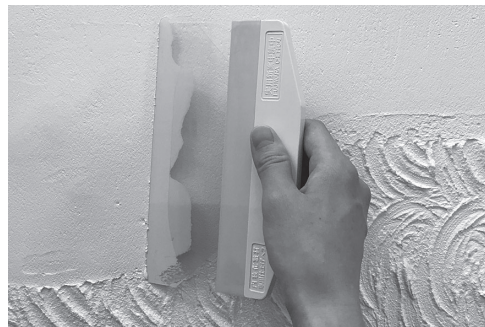
③ ローラー（砂骨材ローラー）を使う方法

砂骨材ローラーに材料をからませ、壁面に塗り広げます。塗り厚みがほぼ均一になったら、砂骨材ローラーを下から上へ転がして、模様を整えます。細かな凹凸模様の仕上がりになります。「毛」の付いたローラー（中毛ローラーなど）では塗り付けができません。



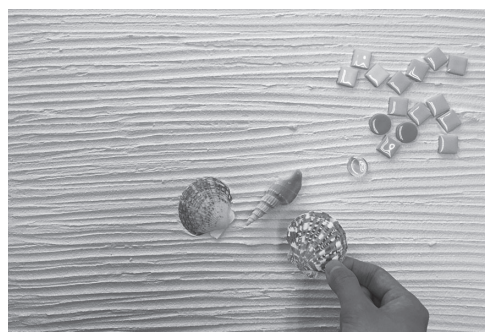
④ スムーディを使って、平らに仕上げる方法

平らな仕上げにしたい場合には、①、②、③のいずれかの方法で塗り付けた直後に、仕上ヘラ「スムーディ」を使って平らにします。



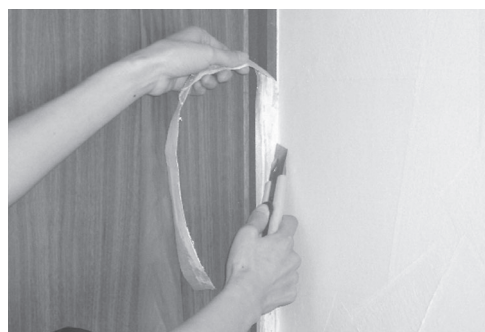
⑨ 小物でアレンジ

乾燥する前に軽量のタイルや貝殻などの小物を貼り付ければ、アクセントになります。重いタイル等は固定できません。



⑩ 乾燥

完全乾燥までに、約1～2日(20℃)かかります。



⑪ 養生（マスキングテープ）を剥がす

■ マスキングテープを剥がすタイミングは、2通りあります。

① 壁材が、乾かないうちに剥がします。この場合は、テープで塗った面をこすらないように気をつけてください。

② 壁材が完全に乾いた後、カッターでテープと塗った面との境界に切れ目を入れながら、外側に向けてテープを引っ張りながら剥がすとスムーズに剥がせます。



⑫ 完成です

古くなって汚れが染みついたせいい壁も、明るくて素敵な壁に変身します。お部屋も明るくなり、居心地も最適です。

⑬ 施工後のメンテナンス

時の経過で付着する日常的な汚れ、手垢等は、強く絞った濡れタオル等でかるく拭いてください。

ご不明の点は、下記までお問合せください。



フジワラ化学株式会社 愛媛県西条市大新田94番地

フリーダイヤル 0120-64-2421 (平日8:00～17:00)

e-mail:homecare@fujiwara-chemical.co.jp